

洪水に備え避難タワーの建設は



日本共産党議員団
西 良倫

問 ①北部コミセンのリニューアル計画に係る校区住民からの問い合わせ内容と対応は②古川校区は洪水発生時の指定緊急避難場所がなく、市が示す東部への避難は高齢者等災害弱者には厳しい。住宅地近くに緊急時避難タワー建設の考えは。

答 ①洪水時にコミセン上層階へ避難したい旨の問い合わせが複数あったが、洪水の指定緊急避難場所であるとの誤解に基づくものであり、丁寧に説明を行った②当校区全域が早期の立退き避難区域に該当し校区外へ避難する必要があるため、設置の考えはない。垂直避難を行うと、洪水で孤立した際に支援の手が届かず、他への移動も極めて困難で命の危険を伴う。避難勧告発令から3時間あるリードタイムのうち早期に東部への避難をお願いしたい。

問 過日の補正予算でコロナ禍における学校現場への支援予算が組まれたが、要望内容と対応状況は。

答 学校への空気清浄機設置や自動手指消毒器の購入、修学旅行等の際のバス車両追加や看護師帯同に要する経費等の要望があり、緊急的に補助金を計上した。市としては要望を可能な限り尊重し、円滑な物品購入や事業実施をサポートしたいと考えている。

減塩のまち事業の今後の展開は



自民党議員団
小松原一哉

問 市民の健康推進に向け産学官協働で進めている減塩のまちの取り組みについて、これまでの経緯と今後の展開は。

答 高齢化が進む中、市民の疾患の多くを占める高血圧症にスポットを当て取り組みを始めたもの。令和2年7月に協働関係機関と立ち上げ式を開催。現在、一部飲食店が京都文教短期大学監修のもと減塩メニュー開発を進め、WEBメディア会社ALCO宇治城陽が立ち上げたサイトや市の広報・インターネットで周知を行っている。今後は広域的

問 市民提案を生かして市民と協働で事業展開を行うなど、未来志向のクリエイティブな行政サービスに向けた組織横断的な専門課を創設する考えは。

答 毎年度全職員から提案を募集し事業に反映させているが、より未来志向の提案のため、常に市民ニーズや新たなサービス提供に意識を向けることを喚起していく。現状の職員数等を踏まえる中では、政策企画課が調整役となる形で組織横断的プロジェクトチームを設置し対応したい。

東城陽中通学路の環境整備は



自民党議員団
一瀬 裕子

問 定住人口増加と空き家の発生抑制のためには、三世代近居・同居住宅支援事業補助金交付制度の周知徹底が不可欠。商工会議所と連携し、関係事業者を対象とした制度の説明会の考えは。

答 ①路肩が雨で浸ることに備え、今後地域住民とともにまち美化活動のアドプトプログラムとして進めることへの見解と支援の考えは。

問 ①東城陽中学校通学路に近接する市道103号線の改修計画は②この通学路は現在PTA主体で花いっぱい運動等の環境整備に取り組んでいるが、